



# 尾久西だより

荒川区立尾久西小学校  
発行日 平成30年10月1日  
発行者 校長 末永 寿宣

## No. 330 10月号

## 尾久西小学校の地域連携 ～たくましい子を育てるために～

校長 末永 寿宣

**たくましい子** 本校の教育目標の中で最も重視しているのは「たくましい子」を育てることです。子どものたくましさは、学校だけで育てていくものではなく、家庭や地域と一体となって育てていくものです。その根底には地域社会に対する「感謝」の気持ちが欠かせません。また、地域社会の人たちから声をかけてもらい、感謝され頼りにされ、認められることで、子どもたちの自尊感情が高められます。人間関係などのトラブルを乗り越えるためにも広い視野が育つことを期待しています。

**一緒に育てる** 「たくましい子」は心身ともにとという意味であり、「心のたくましさ＝思いやり」のある子に育ててほしいと願っています。学校は、預かった子どもたちを一生懸命に育てますが、家庭や地域と連携しながら、「一緒になって育てる」という姿勢が何よりも大切です。このことは、子どもたちに伸び伸びと育つ機会や場を提供することにつながります。自分が生まれ育った「地域」を愛する大人に成長できるように、尾久西小学校では、以下のように地域と連携し、みんなで子どもたちを育てています。



▲【花植え運動事業】  
地域の方と一緒に正門横の荒川区「フラワーポッド」を春と秋の2回、色とりどりの花で飾り、一緒に育てています。



▲【ふれあい給食事業】  
地域の町会の方々と一緒に会食を通して楽しく交流し、おじいちゃんやおばあちゃんを大切に作る心を育てています。



▲【あらかわ寺子屋事業】  
放課後、算数の教科書の学び直しを実施し、地域の方に採点をお願いし、勉強にも一緒に取り組んでいます。



▲【戦争体験を聞く会事業】  
戦時下、福島県のあぶくま地方に疎開した当時の体験をあぶくま会の方からお聞きし、平和について学んでいます。



▲【金管バンド地域支援事業】  
地域の方を中心とした演奏者にパート練習を夏休みにお願ひしています。基本練習の積み重ねで上達しています。



▲【尾久地区学校図書館活性化モデル地域事業】  
地域の中学生による読み聞かせでは、先輩から後輩へ読書の素晴らしさを伝えています。



▲【防火防災教育事業】  
ジュニア防災クラブが、地域関係機関と連携し、防災の意識と思いやりの心を育む活動を続けています。



▲【荒川音頭伝承事業】  
全校児童が、地域の方々から荒川音頭を指導していただいています。運動会やお祭りで踊っています。

尾久西小学校の子どもたちが、地域の方々のご協力を得て、何事も最後まであきらめない「たくましい子」に育つように今後も努力してまいります。保護者・地域の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、これからもご支援のほどよろしくお願い申し上げます。